設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

評価対象建築物の名称	日本 太郎 邸 新築工事
評価対象建築物の所在地	東京都世田谷区〇〇〇1-1-1
設計者等の氏名	江戸 次郎
評価者氏名	

一必須項目一

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄		
				項目	設計内容			
1 構造の安定※	1-1 耐震等級 (倒壊等防止)	等級 ☐ 3 ☒ 2 ☐ 1 評価対象外 ☐	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	☒ 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準)	☒ 伏図		
		☐ 許容応力度計算による(ルート1)			☒ 計算書			
		☐ その他 ()			☐			
	1-2 耐震等級 (損傷防止)	等級 ☐ 3 ☒ 2 ☐ 1 評価対象外 ☐ 選択しない ☐			基礎	基礎	☐ 建築基準法の規定による	
		☒ 許容応力度計算による						
		☐ スパン表 ()						
		☐ その他 ()						
					横架材	横架材	☐ 許容応力度計算による	
		☒ スパン表 (日本住宅・木材技術センター)						
					免震建築物	免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物	
	☒ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成							
		認定書等活用	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第五面に記入)				
1-4 耐風等級	等級 ☒ 2 ☐ 1 選択しない ☐			地盤 (1-6)	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	・許容支持力等	☒ 調査書	
	☐ 杭 [30 kN/m ²]							
	☐ 杭 [kN/本]							
1-5 耐積雪等級	等級 ☐ 2 ☐ 1 該当区域外 ☐ 選択しない ☒		・地盤調査方法等			(スウェーデン式サウンディング試験)		
		☐ 地盤改良有方法 ()						
1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	設計内容説明欄と同様	基礎 (1-7)	基礎の構造方法及び形式等	☒ 直接基礎	☒ 伏図			
1-7 基礎の構造方法及び形式等				・基礎の構造方法 (鉄筋コンクリート造)	☐			
			・基礎の形式 (べた基礎等)					
			☐ 杭基礎 杭種 ()					
			杭径 [cm] 杭長 [m]					
3 劣化の軽減	3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	等級 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 基準 ☒ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証 ☐	外壁の構造等	外壁の構造等 (地面から1m)	☒ 外壁通気構造等	☐ 仕上表		
		☒ 製材、集成材等又は構造用合板等+薬剤処理(現場処理)			☐ 矩計図			
		☐ 製材、集成材等+小径13.5cm			☐ 伏図等			
		☐ 製材、集成材等+耐久性区分D1+小径12.0cm以上			☒ 評価データ			
		☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種						
		☐ K3以上の薬剤処理(工場処理)						
		☐ その他 ()						
					土台	防腐・防蟻処	☒ 土台に接する外壁下端水切り	☐ 仕上表
		☐ K3以上の薬剤処理(工場処理)					☐ 矩計図	
					浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	☒ 浴室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☒ 浴室ユニット	☐ 仕上表
	☐ 外壁軸組等の防腐措置等	☐ 平面図						
			方法: ()	☒ 評価データ				
			☒ 脱衣室 ☒ 防水上有効な仕上げ ☐ 外壁軸組等の防腐措置等					
			方法: (壁:ビニルクロス、床:塩化ビニル製床材)					
		地盤	防蟻措置	・防蟻措置 (☐ 有 ☐ 対象区域外)	☒ 矩計図			
	☒ べた基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他			☒ 伏図				
			方法: ()					
		基礎高さ	基礎高さ	☒ 地面から土台下端までの高さが400mm以上				
		床下防湿措置等	床下防湿措置	☒ 防湿方法 [☒ コンクリート ☐ 防湿フィルム]	☒ 矩計図			
				☐ その他 ()	☒ 伏図等			
		小屋裏換気	小屋裏換気	☒ 換気措置 [☐ 換気口 ☒ ねこ土台 ☐ その他]	☒ 評価データ			
				☐ 基礎断熱工法				
				・小屋裏の有無 (☒ 有 ☐ 無)	☒ 立面図			
				・小屋裏換気設置の有無 (☒ 有 ☐ 無)	☒ 小屋換気図			
		認定書等活用	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第五面に記入)				

※1-2、1-4、1-5の事項については、選択項目となる。

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

一必須項目一

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
4 維持管理・更新への配慮 4-1 維持管理対策等級 (専用配管)	等級	☒ 3 ☐ 2 ☐ 1	☒ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	専用配管	コンクリート内埋込み配管	☒ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 平面図 ☒ 評価データ
	地中埋設管			埋設管上のコンクリート打設	(☒ 無 ☐ 土間コンその他有 ☐ 対象区域外)	☐ 配置図 ☒ 評価データ	
	排水管の性状等			内面の仕様	☒ 排水管内面が平滑である	☐ 仕上表 ☒ 評価データ	
	専用排水管			清掃措置	☒ 便所、その他水廻りに必要な清掃措置の確保	☐ 平面図 ☒ 評価データ	
	配管点検口			主要接合部等の点検措置	☒ 主要接合部等の点検措置等の確保	☐ 平面図 ☒ 評価データ	
	5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること※4 5-1 断熱等級 (6) 地域	等級	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☒ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準	☐ 非住宅・住宅計算方法(告示265号) ☒ 住宅仕様基準(告示266号)	
外皮平均熱貫流率	非住宅・住宅計算方法(告示265号)			外皮平均熱貫流率	() (W/(m ² ・K)) ☐ UA値の値を評価書に記載する ※1	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☒ 評価データ	
				冷房期の平均日射熱取得率	() ☐ η _{AC} 値の値を評価書に記載する ※2		
住宅仕様基準(告示266号)	躯体の断熱性能等			適用条件	開口部比率 ()	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☒ 評価データ	
				開口部の断熱性能等	☐ 熱貫流率の基準の適合 ☒ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合		
認定書等	認定書等活用			開口部の断熱性能等	開口部比率の区分 ☐ 区分(い) ☐ 区分(ろ) ☐ 区分(は) ☒ 区分(に) ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)		
				認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第五面に記入)		
結露防止対策	結露防止対策			繊維系断熱材	繊維系断熱材等の使用 (☒ 有 ☐ 無)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☒ 評価データ	
				防湿層の設置	防湿層の設置 (☒ 有 ☐ 無) ☐ 除外規定適用 ()		
				通気層の設置	通気層の設置 (☒ 有 ☐ 無) 防風層の設置 (☒ 有 ☐ 無) ☐ 除外規定適用 ()		
認定書等	認定書等活用			☐ 認定書等の活用(第五面に記入)			
5-2 一次エネルギー消費量等級 () 地域	等級	☐ 5 ☐ 4 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準	☐ 一次エネルギー消費量計算 ☒ 住宅仕様基準(告示266号)	☐ 仕上表 ☐ 計算書	
	単位床面積当たりの一次エネルギー消費量				☐ 単位床面積当たりの一次エネルギー消費量の値を評価書に記載する ※3	☐	
	自然風利用				☐ 自然風の利用		
	蓄熱利用				☐ 蓄熱の利用		
	暖房方式				()		
	冷房方式				()		
	換気設備方式				()		
	給湯設備				給湯熱源機 () ・配管方式 ☐ 先分岐方式 ☐ ヘッダー方式 ・水栓 ☐ 節湯水栓等を使用 ・浴槽 ☐ 高断熱浴槽を使用 ・太陽熱給湯 ☐ 太陽熱給湯を使用		
	照明設備				主たる居室 () その他居室 () 非居室 ()		
	太陽光発電設備				太陽光発電設備の使用 ☐ 有 ☐ 無		
コージェネレーション設備				コージェネレーション設備の使用 ☐ 有 ☐ 無			

※1:等級4の場合のみ明示することができる。(地域区分の8地域を除く。) ※2:等級4の場合のみ明示することができる。(地域区分の1、2、3及び4地域を除く。)

※3:等級5の場合のみ明示することができる。 ※4:5-1又は5-2のいずれか1は、必須項目となる。

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

— 選択項目 —

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
2 火災時の安全	2-1 感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)	等級 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐	感知警報装置	感知部分の設置場所等	<ul style="list-style-type: none"> 基準に適合した感知部分の設置場所 ☒ 寝室 ☒ 居室 ☒ 台所等 ☒ 階段等 警報を行う部分 (☒ 1mで70dB以上の警報音を1分継続可能 ☐ その他同等) (☒ 居室を有する各階設置 ☐ 階数が1) (☒ 150㎡毎設置 ☐ 350㎡毎設置 ☐ その他) (☒ ネットワーク化されている) 	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☒ 評価データ	
	2-4 脱出対策 (火災時)	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	脱出対策(3階以上)	避難器具の種類	<ul style="list-style-type: none"> ☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー ☐ 避難器具 (☐ 避難ロープ ☐ 避難はしご ☐ 避難用タラップ ☐ 避難橋 ☐ 滑り棒 ☐ 滑り台 ☐ 緩降機 ☐ 救助袋) ☐ その他 () 	☐ 仕上表 ☐ 平面図	
	2-5 耐火等級 (延焼のおそれのある部分・開口部)	等級 3 ☐ 2 ☒ 1 ☐	開口部の耐火性能(耐火性能が最も低いもの)	防火設備の仕様等	<ul style="list-style-type: none"> 外壁の開口部の耐火性能 耐火時間 (☐ 60分以上 ☒ 20分以上 ☐ その他) 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第五面に記入) 	☒ 仕上表 ☒ 矩計図 ☒ 評価データ	
	2-6 耐火等級 (延焼のおそれのある部分・開口部以外)	等級 4 ☐ 3 ☐ 2 ☒ 1 ☐	外壁・軒裏の構造(耐火性能が最も低いもの)	外壁の構造等 軒裏の構造等	<ul style="list-style-type: none"> 外壁の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☒ 20分以上 ☐ その他) 軒裏の耐火時間 (☐ 60分以上 ☒ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第五面に記入) 	☒ 仕上表 ☒ 矩計図 ☒ 評価データ ☒ 配置図	
6 空気環境	6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)	設計内容説明欄と同様 ☒ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室の内装仕上げ材 天井裏等の下地材等	使用建材の種類	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 製材等 ☒ 特定建材 ☒ その他の建材 ホルムアルデヒド発散等級 ☒ F☆☆☆☆ (等級3) ☐ F☆☆☆ (等級2) ☐ F☆☆ (等級1) 措置方法 ☒ 換気又は気密措置による ☒ 使用建材による 使用建材の種類 ☒ 製材等 ☒ 特定建材 ☒ その他の建材 ホルムアルデヒド発散等級 ☒ F☆☆☆☆ (等級3) ☐ F☆☆☆ (等級2) 	☒ 仕上表 ☐ 建材表 ☒ 評価データ	
	6-2 換気対策	設計内容説明欄と同様 ☒ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策	種類	<ul style="list-style-type: none"> ☒ 機械換気設備 ☐ その他 	☐ 平面図	
7 光・視環境	7-1 単純開口率	設計内容 ☒ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		<ul style="list-style-type: none"> 単純開口率 (☒ 30 % 以上) 	☒ 平面図 ☐ 建具表 ☐ 評価データ	
	7-2 方位別開口比	説明欄と同様 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	方位別開口部の面積合計の比		<ul style="list-style-type: none"> 北面 (☒ 16 % 以上) 東面 (☒ 28 % 以上) 南面 (☒ 46 % 以上) 西面 (☒ 8 % 以上) 真上 (☐ %) 		

— 選択項目 —

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄		
				項目	設計内容	記載図書			
8音環境 8-4 透過損失等級 (外壁開口部)	☐ 3 ☒ 2 ☐ 1 ☐ 該当無し(北) ☐ 該当無し(東) ☐ 該当無し(南) ☐ 該当無し(西) ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の遮音性能	北の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☒ JISの遮音等級表示品 (T-1) ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☒ 評価データ			
				東の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☒ JISの遮音等級表示品 (T-1) ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB				
				南の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☒ JISの遮音等級表示品 (T-1) ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB				
				西の方位のサッシ・ドアセット (遮音性能が最低のもの)	☒ JISの遮音等級表示品 (T-1) ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 () dB				
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第五面に記入)			
				9高齢者等への配慮 9-1 高齢者等配慮等級 (専用部分)	☐ 5 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 選択しない	☒ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	部屋の配置等	特定寝室 (1 階、室名: 和室1) ・ 基準に適合したホームエレベーター (☐ 有 ☒ 無) ☒ 特定寝室と同一階に配置すべき室等の基準に適合	☒ 平面図 ☐
							日常生活空間内	☒ 日常生活空間内の床が段差のない構造 ・ 適用除外の段差 ☒ 玄関出入口 ☐ 玄関上りかまち ☒ 浴室出入口 ☐ その他の段差 ()	☒ 平面図 ☐
							日常生活空間外	☒ 日常生活空間外の床が段差のない構造	
							階段	勾配等 ☒ 階段の勾配等の基準に適合 蹴込み ☒ 蹴込みが30mm以下 ・ 蹴込み板の設置 (☒ 有 ☐ 無) 形式等 ・ 回り階段等の設置 (☒ 有 ☐ 無) ・ 通路等への食い込み、突出 (☐ 有 ☒ 無) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 有 ☒ 無) 滑り防止 ・ 滑り止め (☐ 無 ☒ 有、踏面と同一面) 段鼻 ・ 段鼻の出 (☒ 有 ☐ 無) 階段の幅員 ☒ 必要な階段幅員の確保	☒ 平面図 ☐
							手摺	手摺の設置 ☒ 階段 ☒ 便所 ☒ 浴室 ☒ 玄関 (☐ 設置準備) ☒ 脱衣室 (☒ 設置準備) 転落防止手摺の設置 ☒ バルコニー (☐ 手すりの設置 ☒ 転落のおそれなし) ☒ 窓 (2階以上) (☐ 手すりの設置 ☒ 転落のおそれなし) ☒ 廊下及び階段 (☐ 開放なし ☐ 手すりの設置 ☒ 転落のおそれなし)	☒ 平面図 ☐
							通路等の幅員	通路の幅員 ☒ 通路幅員の基準に適合 出入口の幅員 (日常生活空間内) ☒ 玄関・浴室出入口の幅員の基準に適合 ☒ 玄関・浴室以外出入口の幅員の基準に適合 (☐ 工事を伴わない撤去等 ☒ 軽微な改造)	☒ 平面図 ☐
							寝室、便所及び浴室	浴室の寸法 ☒ 内法面積、短辺寸法の基準に適合 便所の寸法等 ☒ 内法寸法の基準に適合 ☐ 便器と壁の距離の基準に適合 ☐ ドアの開放により確保 ☐ 軽微な改造により確保 ☐ 工事を伴わない撤去等により確保 ☒ 腰掛け式便器を設置 特定寝室面積 ☒ 特定寝室の内法面積の確保	☒ 平面図 ☐